

シオミイカリソウ(ヒメイカリソウ)

学名 *Epimedium trifoliatobinatum* (Koidzumi) Koidzumi subsp. *maritimum* K.Suzuki

目名

目名学名

科名 メギ科

科名学名 Berberidaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)

NO IMAGE

[選定理由]

ヒメイカリソウとして早くから鶴見半島では知られていた。県内では海岸部を中心に分布し、その後背地域にも広がっている。生育地は限られ、植生遷移の影響で個体数が減少している。

県内分布	別府湾沿岸域, 豊後水道域, 豊後水道後背地域
分布域	本州(中国地方), 四国, 九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	海岸路傍, 丘陵地。
現状	鶴見半島を中心に佐伯市上浦, 津久見市に多く生育が確認されているが, 年々個体数は減少気味である。
備考	